

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成19年6月18日

施設名	高知公園駐車場	所管課室	教育委員会事務局文化財課
-----	---------	------	--------------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県観光コンベンション協会	指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日
施設所在地	高知市丸ノ内		
事業内容	高知公園駐車場の利用料金徴収及び管理		
施設内容	面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 敷地面積: 約3,300㎡ 施設名: 高知公園駐車場 駐車可能台数: バス 20台、普通車 65台 開場日: 年中無休 利用料金: 別紙のとおり		
職員体制	常勤職員: 4人、非常勤職員: 0人 合計: 4人 繁忙期は、必要に応じて臨時雇用		

2 収支の状況

単位: 千円

		17年度(決算)	18年度(決算)	19年度(予算)
収入	県支出金	20,937		/
	使用料・手数料		31,353	
	その他		15	
	収入計 (a)	20,937	31,368	
支出	事業費			
	管理運営費	3,348	2,408	
	人件費	17,956	21,390	
	その他			
	支出計 (b)	21,304	23,798	

平成19年度から、高知公園全体を指定管理の対象とすることとしたので、平成19年度の比較数値は記載していない。

3 利用状況

	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(目標)
年間利用者数(単位:人)	基本使用料 47,090台 超過使用料 19,658台 夜間使用料 14台	基本使用料 51,471台 超過使用料 34,537台 夜間使用料 34台	
利用者意見等の反映	利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 実施していない		
その他特記事項	平成18年度は、大河ドラマ「功名が辻」の放送に合わせて、高知公園隣接の丸の内緑地で「土佐24万石博」が開催され、高知公園天守等の入館者も平成17年度18万人あまりが、平成18年度は、37万人と大幅に増加している。 駐車場は、高知財務事務所から、高知公園来園者の便宜を図る目的で、無償貸与を受けているものであり、収益をあげないこと、高知公園利用者以外の使用には、原則として供しない事との指導を受けている		

4 平成18年度業務評価

項目	状況説明
適正な管理運営の確保	入退車時間の管理のために打刻機を活用し、利用料金の適切な管理をおこなった。場内の清潔及び安全の確保のために適宜清掃をおこなった。
利用者サービスの維持向上	各種観光パンフレットを備え付け、観光客に配布するなど、指定管理者の専門性を活かした取り組みが行われた。 ゴールデンウィークなど繁忙期には、周辺の渋滞緩和のため、応援の人員を配置し積極的に誘導をおこなうとともに、周辺駐車場の案内看板を設置するなど、利用者以外の通行車両にも配慮をおこなった。
利用実績	「土佐24万博」の効果もあり、予想を上回る利用実績となった。
収支の状況	最低納付額(3,374千円)に加え、2,098千円追加納付額が生じるなど協定締結時の想定を上回る収入があった。一方、開館時間の延長への対応など人件費支出は、予算を上回っている
総合評価	B 国有地の借り受け条件の制約のある中で、「土佐24万石博」に積極的に協力し、入園者の利便を図ったことが、収入増という結果に現れている。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの